

東京都食品安全FAQ（よくある質問とその回答集）の
改訂について

東京都食品安全FAQ(よくある質問とその回答集)の改訂について

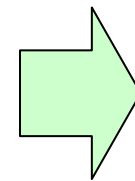
東京都食品安全FAQ

- 平成 19 年度食品安全情報評価委員会において調査委託を実施し、「東京都食品安全FAQ(よくある質問とその回答集)」を作成した。
- 作成方針
多数の都民が持っている食の安全に関する疑問を、都民にとってわかりやすく回答する。



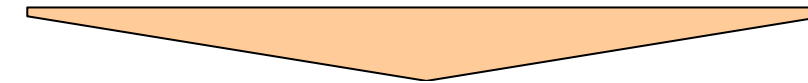
FAQ作成後の状況

- 「東京都食品安全FAQ」作成後、改訂はされていない。
- 福島第一原発事故により、放射性物質による食品汚染の問題が発生した。
- 東京都は、放射能Q&Aを国の説明資料等を参考に食品編6問をホームページに掲載している。
- 「東京都食品安全FAQ」についても、放射能を含めて「都民が知りたいこと」について回答し、都民の不安を解消するように改訂する必要がある。



東京都食品安全FAQの改訂

- 食の安全について、「都民が知りたいこと」を都民から収集する。
- 収集した「都民が知りたいこと」に関して、国や自治体が作成したFAQを収集する。
- 「都民が知りたいこと」についてわかりやすく回答し、都民の不安を解消できるよう、「東京都食品安全FAQ」を追加、改訂する。



調査会社への委託実施

- 平成 19 年度に「東京都食品安全FAQ」を作成した際は、民間の調査会社に委託し、その調査手法(ノウハウ)の活用により、充実したFAQとなった。
- 今回も調査会社の調査手法を活用し、「東京都食品安全FAQ」を改訂する。
 - ★ 都民から直接、「都民が知りたいこと」を収集する。
 - ★ 国や自治体が作成したFAQを収集し、国の説明又はそれに準じた説明は、都民にとってわかりやすいものとなっているのかを調査する。
 - ★ 「東京都食品安全FAQ」全体の改訂及び追加を実施する。

スケジュール(案)

平成24年7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
○食品安全情報評価委員会							○食品安全情報評価委員会	
	●調査会社への委託						●FAQ改訂作業終了	

都内流通食品の放射性物質検査 (東京都福祉保健局)

- 検査対象：都内を流通する生鮮食品及び加工食品
- 対象食品の産地等：生鮮食品は主として、国通知で検査対象となっている 17 自治体（福島県、宮城県、岩手県、栃木県、茨城県等）が対象である。また、加工食品は地域を特定せずに実施している。
輸入食品は、チェルノブイリ原発事故の影響を受けた主としてヨーロッパが対象である。
- 検体採取日：平成 23 年 11 月 8 日から平成 24 年 3 月 31 日まで

	検査品目数	暫定規制値超過
農産物	91	0
水産物	20	0
食肉類	16	0
鶏卵等	19	0
牛乳・乳製品	104	0
飲料水	2	0
加工食品	251	0
合計	503	0

※暫定規制値：放射性セシウム 500Bq/kg

- 検体採取日：平成 24 年 4 月 1 日から平成 24 年 6 月 19 日まで

	検査品目数	基準値超過
農産物	32	0
水産物	18	0
食肉類	15	0
鶏卵等	4	0
牛乳・乳製品	39	0
飲料水	10	0
加工食品	92	0
合計	210	0

※基準値：放射性セシウム 100Bq/kg

都内産農林水産物の放射性物質検査 (東京都産業労働局)

○ 検査対象：都内産農畜産物、水産物及び林産物

○ 検体採取日：平成23年2月21日から平成24年3月31日まで

	検査品目数	暫定規制値超過	暫定規制値を超えた品目、検出値
農産物	295	1	コマツナ(露地栽培):放射性セシウム890Bq/kg
林産物	17	0	
茶(生茶葉、荒茶、製茶)	61	3	製茶(若芽・早摘み)3品目:放射性セシウム690Bq/kg,670Bq/kg,550Bq/kg
水産物	43	0	
原乳	6	0	
合計	422	4	

※暫定規制値：放射性セシウム 500Bq/kg

○ 検体採取日：平成24年4月1日から平成24年6月12日まで

	検査品目数	基準値超過	基準値を超えた品目、検出値
農産物	87	3	乾燥アシタバ2品目(280Bq/kg,105Bq/kg)、アシタバ生葉(122Bq/kg)
林産物	17	0	
茶(生茶葉、荒茶、製茶)	33	0	
水産物	18	0	
原乳	4	0	
合計	159	3	

※基準値：放射性セシウム 100Bq/kg

放射性物質に関する都民への情報提供

1 シンポジウム

- 食の安全都民フォーラム「放射性物質と食品の安全性について」

日時：平成 23 年 6 月 11 日（土曜日） 午後 2 時から午後 5 時まで

内容：講演

- 1 「放射線と健康影響（飲食物摂取による影響を中心として）」

講師 滝澤 行雄 氏（秋田大学名誉教授）

- 2 「環境に放出された放射性物質の飲食物への影響」

講師 村松 康行 氏（学習院大学理学部教授）

パネルディスカッション

「原子力発電所事故と飲食物の安全性及び健康影響について」

パネリスト 滝澤 行雄 氏、村松 康行 氏、蒲生 恵美 氏（消費生活アドバイザー）、鈴木 達夫（福祉保健局食品医薬品安全担当部長）

座長 桜山 豊夫（福祉保健局技監）

- 放射能対策に関するシンポジウム

「放射能対策の過去・現在・未来を考える～福島第一原発事故からの一年をふまえて～」

日時：平成 24 年 3 月 18 日（日曜日） 午後 2 時から午後 5 時まで

内容：講演

- 1 「放射能の基礎知識・放射線防護の考え方」

講師 小佐古 敏荘 氏（日本保健物理学会会長）

- 2 都の取組（報告）「東京都における放射能測定の実践」

講師 住友 眞佐美（東京都健康安全研究センター所長）

パネルディスカッション

「放射能対策のこれから」

パネリスト 小佐古 敏荘 氏、住友 眞佐美、瀬古 博子 氏（消費生活アドバイザー・東京都食品安全情報評価委員会委員）

2 電話相談対応

- 平成 23 年 3 月 21 日～平成 23 年 4 月 28 日

「原発事故による食品の放射能汚染に関する臨時相談窓口」

相談件数累計 2,150 件

- 平成 23 年 4 月 29 日～平成 24 年 3 月 31 日

「原発事故による放射能汚染に関する臨時相談窓口」

相談件数累計 4,562 件

- 平成 24 年 4 月 1 日～

「放射線測定結果に関する相談窓口」

相談件数累計 185 件（平成 24 年 6 月 21 日現在）

3 ホームページ

- 東京都の食品安全情報サイト「食品衛生の窓」
「都内流通食品の放射性物質検査結果」、「芝浦と場でと畜した牛の肉の放射性物質検査結果」及び「食品の放射性物質の規格基準」を掲載

- 東京都健康安全研究センターホームページ
「環境放射能測定結果」、「放射能Q&A」及び「講習会・講演会資料」を掲載